

# 第1学年1組 体育科学習指導案

授業者 森 田 哲 史

## 1 単元名 「置き換え障害物リレー遊び」(走・跳の運動遊び)

### 2 運動の特性

#### (1) 一般的特性

○競い合ったり、記録に挑戦したりして楽しむ運動である。

#### (2) 児童からみた特性

置き換え障害物リレー遊びの楽しさや喜びを感じる要因	置き換え障害物リレー遊びを遠ざける要因
・競走に勝ったり、記録が伸びたりしたとき ・調子よく走る心地よさを味わうことができたとき	・競走に負け続けたり、記録の停滞が続いたりしたとき

### 3 児童の実態

#### (1) 技能

1学期の鬼遊びでは、一定の区域で逃げる、追いかける学習をしてきており、鬼のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることを多くの児童が身に付けている。一方、新体力テストの50m走では、コース内を蛇行して走る児童が数名見られた。まっすぐに走るとよいとわかっているにもかかわらず、うまくできない児童もいる。

#### (2) 態度

運動への関心・意欲が高く、授業で学習した鉄棒や登り棒に休み時間にも進んで取り組んでいる。しかし、近くにいる友達とぶつかってしまうことが何度か見られ、場の安全に気を付けることができていなかった。

#### (3) 思考・判断

1学期の鉄棒を使った運動遊びや水遊びでは、動きをまねしたい友達を探すことができた。しかし、何がよい動きなのかを見付けることはあまりできていなかった。

### 4 教師の指導観

#### (1) 技能

6年間を見通した系統性のある指導計画を立てることで、目指す動きの重点化、焦点化をした。第1学年では、走り方や跳び方と用具を組み合わせることで、直線、蛇行、回旋などいろいろな方向に走り、片足や両足で連続して跳び、迎えでのバトンパスが正確にできるようにする。

#### (2) 態度

置き換え障害物リレー遊びで多くの用具を使用することで、準備や片付けを友達と一緒にできるようにする。準備の際や運動の前には、場の安全に気を付ける場面を設定することで、危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどを確かめられるようにする。

#### (3) 思考・判断

課題解決するために思考・判断する具体的な場面として、①第2時の友達のよい動きを見付ける場面と②第4時のオリジナルコースづくりをする場面を設定する。①では、用具を焦点化してよい動きを見付けることで、用具毎のよい動きの技術ポイントを知識として習得できるようにする。②では、これまでに習得した知識(技術ポイント、ルール)と自分たちの技能を活用して、用具の置き方を工夫できるようにする。

## 5 単元目標

- (1) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。【関心・意欲・態度】
- (2) 走る跳ぶ簡単な遊び方を工夫できるようにする。【思考・判断】
- (3) いろいろな方向に走ったり跳んだりし、迎えでのバトンパスができるようにする。【技能】

## 6 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	○走・跳の運動遊びに進んで取り組みとともに、順番やきまりを守り勝敗を受け入れて仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	○走・跳の運動遊びの行い方を工夫している。	○走・跳の運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きができる。
学習活動に即した評価規準	①運動遊びに進んで取り組みもうとしている。 ②運動の順番やきまりを守り、勝敗の結果を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④運動をする場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。	①運動遊びの行い方を知るとともに、用具の置き方を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、選んだりしている。 ②動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。	①蛇行や回旋をして走ったり、まっすぐに走ったりすることができる。 ②片足や両足で連続して跳ぶことができる。 ③相手と迎えでバトンを渡したり受けたりすることができる。

## 7 単元の計画

- (1) 領域（陸上運動系）の取り上げ方

学年	短距離走・リレー系	ハードル走系	走り幅跳び系	走り高跳び系
第1学年	置き換えリレー遊び 6時間	置き換え障害物リレー遊び 5時間 (本単元)	幅跳び遊び 3時間	
第2学年	折り返しリレー遊び 6時間	折り返し障害物リレー遊び 6時間		高跳び遊び 3時間
第3学年	小トラックリレー 5時間	小型ハードル走 6時間	幅跳び 5時間	
第4学年	トラックリレー 5時間	小型ハードル走 6時間		高跳び 5時間
第5学年	短距離走・トラックリレー 5時間	ハードル走 6時間	走り幅跳び 6時間	
第6学年	短距離走・トラックリレー 5時間	ハードル走 6時間		走り高跳び 6時間

- (2) 運動種目（ハードル系）の取り上げ方

学年	教材	高さ	インターバル	目指す動き
1	置き換え障害物リレー遊び (障害物は、ケンステップ、タイヤ、カラーコーン)			直線、蛇行、回旋などいろいろな方向に走ったり、片足や両足で連続して跳んだりすること
2	折り返し障害物リレー遊び (障害物は、平面的なシート)	0 cm	非一定	片足で前方に踏み切って、逆足で着地して走ること
3	8秒間ハンディキャップ走(40m) 折り返し小型ハードルリレー	30cm 程度	非一定	非一定間隔に小型ハードルを置いて、いろいろなリズムで調子よく走り越えること
4	8秒間ハードル走(40m) 小トラック小型ハードルリレー	30cm 程度	一定	一定間隔に小型ハードルを置いて、一定のリズムで調子よく走り越えること
5	チーム対抗40mハードル走 (低いハードル)	40cm 程度	一定	第1ハードルを決めた足で走り越え、自分に合ったインターバルを3歩のリズムで走ること
6	チーム対抗40mハードル走 (第5学年よりも高いハードル)	60cm 程度	一定	自分に合ったインターバルで、少し高さのあるハードルを体のバランスをとりながら走ること

(3) 指導と評価の計画（5時間扱い） 本時は○印 4 / 5時

時	1	2	3	④	5
ねらい	○協力して準備や片付けをし、安全に気を付けて運動しよう。	○友達のよい動きをたくさん見つけよう。	○ルールを守って、バトンをしっかりとつなげよう。	○自分たちのオリジナルコースをつくらう。	○ケンケン、グルグル、くねくねしても、時間内にポケモンを落とさずゲットしよう。
指導の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の仕方や進め方</li> <li>・チーム編成</li> <li>・用具の準備や片付けの仕方</li> <li>・安全な運動の行い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアまたはトリオづくり</li> <li>・よい動きの見つけ方</li> <li>・片足や両足での跳び方</li> <li>・蛇行の仕方</li> <li>・回旋の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バトンバスのルール</li> <li>・バトンの渡し方</li> <li>・話合いの仕方</li> <li>・よい動きをしている児童紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コースづくりのルール（用具の置き方など）</li> <li>・話合いの仕方</li> <li>・よい学び合いをしているチーム紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールの再確認</li> <li>・よい動きの再確認</li> <li>・単元のまとめ</li> <li>・第2学年の予告と見通し</li> </ul>
学習過程	1 集合、整列、挨拶をする。 2 準備運動をする。				
	《オリエンテーション》 3 単元の学習内容と本時のねらいを確認する。 4 学習の仕方や進め方に見通しをもつ。 ・学習過程、1時間の流れ ・用具の確認 ・学習の場づくりの仕方 ・学習カードの使い方 5 チーム編成をする。 ・男女混合異質8チーム 6 パワーアップタイムをする。 7 試しの置き換え障害物リレー遊びをする。 ・協力して用具の準備 ※どの用具をどこに置くのかを示した学習の場づくりの掲示物を用いて、安全に短時間で準備をできるようにする。	3 パワーアップタイムをする。 (1) 新聞しっぽ取り鬼 ※蛇行や回旋をして逃げるにより、主運動につなげるようにする。 ・新聞紙1枚を縦に2回折り、体育着に挟んでしっぽとする。 ・一定時間過ぎたら、攻守交代をする。 ・しっぽを手で押さえてはいけない。 	(2) 新聞モンスターボール投げっこ合戦 ※学校課題のボール投げを意識した投力向上のための手立てとして行う。 ・しっぽ取り鬼で使った新聞を丸めてボールをつくる。 ・体育館を二分したラインを挟んでボールを一定時間投げ合う。 ・自陣のボールを素早く片付けたチームの勝ちとする。そのため、できるだけ速くに投げると、相手チームが片付けにくい勝利につながる。		
		4 本時のねらいを確認する。 5 置き換え障害物リレー遊びを行い、友達のよい動きを見付ける。 ※ペアまたはトリオをつくり、互いの動きを見合うことができるようにする。 ※用具（ケンステップ、タイヤ、カラーコーン）を焦点化し、よい動きを見付けやすくする。 ※用具毎のよい動きの技術ポイントを知識として習得できるようにする。 6 チームで連続跳び、回旋、蛇行の練習をする。 7 タイムアタックリレーをする。	5 タイムアタックリレー（1回目）をする。 ・連続跳び、回旋、蛇行、パンチファイターの置き換えをしながら折り返し、リングバトンを次走者につなぐ。 ・制限時間を音楽教材で設定し、音楽が終わるまでに全員が走り終われば達成とする。 ・達成したチームは、一番奥にあるタイヤ（折り返しポイント）を少しずつ遠くにして挑戦する。 	6 これまでに習得した知識（技術ポイント、ルール）と自分たちの技能を活用して、チームでオリジナルコースづくりをする。 ※チームを二つに分け、ペア・トリオでケンステップとカラーコーンの置き方を考えられるようにする。	
			6 よいバトンバスをしていたチームの動きを参考に、チームでバトンバスの練習をする。 	7 タイムアタックリレー（2回目）をする。	6 最後のタイムアタックリレーでチーム新記録を出すために、動きやコースについて、チームで見合ったり話合ったりしながら練習する。 7 タイムアタックリレー（2回目）をする。 8 本時と単元のまとめをする。 ・学習カードへの記入 ・ねらいに沿った振り返り ・第2学年の予告と見通し 9 整理運動、挨拶をする。 10 後片付けをする。
評価計画	関	③④	①	②	
	思		②		①
	技			③	①②
	方法	観察	観察、学習カード	観察、学習カード	観察、学習カード
	場面	7	5	6、7	6

## 8 本時の学習と指導（4／5時）

### (1) ねらい

○運動遊びの行い方を知るとともに、用具の置き方を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、選んだりすることができる。【思考・判断】

### (2) 準備

- ・リングバトン ・タイヤ ・パンチファイター ・ケンステップ ・カラーコーン
- ・掲示資料 ・学習カード ・音楽教材 ・新聞紙

### (3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 13分	1 集合、整列、挨拶をする。	○身なりを整え、気持ちよく学習を始めるようにする。
	2 準備運動をする。	○一つ一つの動きを正しく行えるように声かけをする。
	3 パワーアップタイムをする。 (1) 新聞しっぽ取り鬼 (2) 新聞モンスターボール投げっこ合戦	○蛇行や回旋をして鬼から逃げる児童を称賛し、タイムアタックリレーの動きにつなげるようにする。 ○なるべく遠くに投げることが勝利につながることを伝え、遠くに投げる投動作ができるようにする。
	4 本時のねらいを確認する。	○タイムアタックリレーで、さらに記録を伸ばすために、どうしたらよいかを問いかけ、考えられるようにする。
展開 27分	自分たちのオリジナルコースをつくろう。	
	5 タイムアタックリレー（1回目）をする。	○記録を伸ばすための用具の置き方を一人一つ以上考えるという条件を設定し、基本コースでのチームベスト記録よりも一つ上の記録に挑戦することで、6の活動で根拠をもってコースづくりができるようにする。
	6 これまでに習得した知識（技術ポイント、ルール）と自分たちの技能を活用して、チームでオリジナルコースづくりをする。	○動きを焦点化し、どこに着目して友達と一緒に動きを比較すればよいのかわかるようにする。 ○これまでに習得した知識（技術ポイント、ルール）と自分たちの技能を活用して、ケンステップ、カラーコーンの置き方を工夫できるようにする。その際、チームを二つに分け、ペア・トリオで用具の置き方を考えられるようにする。
	◆運動遊びの行い方を知るとともに、用具の置き方を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、選んだりしている。（観察・学習カード）【思】	
整理 5分	○「□□さんだったら～」とチームメンバーの技能を活用してすることで、用具の置き方を複数考えられるようにする。	
	△努力を要すると判断される状況（C）の児童への指導の手立て 掲示資料を見たり、これまでの学習を想起したり、友達の意見を聞いたりするよう声をかける。 ◎十分満足できると判断される状況（A）の児童の具体的な姿 これまでに習得した知識や自他の現在の技能を振り返りの視点とし、複数の用具の置き方から明確な根拠をもって用具の置き方を選び、具体的な動きを決定している。	
	7 タイムアタックリレー（2回目）をする。	○ベスト記録更新ができなかったとしても、動きの高まりを認め、学び合いの成果を実感できるようにする。
整理 5分	8 本時のまとめをする。	○本時のねらいに沿って学習を振り返り、よい学び合いをしていた児童を紹介し、全体に広めるようにする。
	9 整理運動、挨拶をする。	○ゆったりとした動作で全体をほぐすようにする。

9 備考 在籍児童数 35名 男女混合異質8チーム（1チーム4～5名）編成